

移住定住

秩父別住みます芸人プロジェクト よしもと興業所属芸人が町をPR



住みます芸人の任命を受ける「ソレイユ」
なおとさん(左)としんたろうさん(右)(9月4日)

秩父別の生活模様を 動画などで配信

秩父別での生活を全国に発信することを目的とし、9月3日から10月28日までの約2ヶ月間、よしもと興業所属芸人が秩父別町内で生活し、その様子をツイッターやインスタグラムなどのSNSで発信を行う、「住みます芸人プロジェクト」を実施しています。

「住みます芸人」のトップバッターとして札幌よしもとの芸人コンビ「ソレイユ」が9月3日から2週間町内で生活し、調理師免許を活かしてブロッコリーの創作料理をこども園で提供したほか、秩父神社例大祭なども盛り上げられました。

10月8日からは同じく札幌よしもとのオジョーさんがお子さんを連れて2週間生活し、子育て環境をPRする予定となっています。

住みます芸人は毎日SNSで発信を行っているほか、SHOWROOMという配信サイトでは生放送も行っていますので、詳しくは町フェイスブックをご覧ください。



10月8日～



10月23日～



今後町内で生活するオジョーさんと桂三段さん

こども園のお誕生会を盛り上げる
「つちふまズ」小澤さん(左)と
「神様のペット」スズサクさん(右)

アンの秩父別タイ在記

毎月連載!

Vol. 4 「テレビ (NHK) 取材を受けました」

8月下旬に3日間にわたり、国際交流やインバウンド事業におけるテレビ取材を受けました。緊張はしませんでした。ただし、北海道の食べ物が美味しくて秩父別に来てから体重が増えた私は、ちょっとテレビに出る自信はありませんでしたが… (笑)

取材では私の仕事の内容や北海道に対するタイ人の反応などが聞かれました。私はここに来て、半年が経ち、空気、空、星、景色の綺麗さが秩父別町の魅力だと思っています。秩父別町や北海道のことがまだ分かっていないタイ人に私のフェイスブックを通して感想や経験をできるだけ伝えようと思っています。

道内の他の地域の見どころは沢山あるので、時間の許す限り見て回りしたいと思います。放送の内容は地震災害により延期になっていますが、放送される日が楽しみです。



平成30年度自衛官等募集案内

● 高等工科学校生徒 (一般)

応募資格	日本国籍を有し、平成31年4月1日現在、中卒 (見込含) 17歳未満の男子
受付期間	平成30年11月1日 (木) ~ 平成31年1月7日 (月)
試験期日	第1次試験: 平成31年1月19日 (土)
試験会場	陸上自衛隊旭川駐屯地 (旭川市春光町)

● お問い合わせ先

役場窓口または、自衛隊旭川地方協力本部南地区隊 (0166-54-5617) まで

詳しくはホームページへ

中退共 検索

お問合せはお気軽に

(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

TEL (03) 6907-1234
FAX (03) 5955-8211

パートタイマーさんや
家族従業員も加入できます

簡単

社外独立で
管理も簡単

精算状況や退職金試算額を
専業主さんにお知らせします。

有利

掛金は全額非課税
手数料もかかりません。

安全

国の制度だから安心
新規加入や掛金を増額する場合、
掛金の一部を国が助成します。

中退共の
退職金制度なら

社長の決断、
応援します。

退職金



子ども園くるみの園児が秩父別郵便局で郵便投函体験を行いました。園児たちは窓口で切手を購入し、自分で書いたお手紙の封筒に貼った後、あて先に届くのを楽しみにしながらポストへ投函していました。

広報に掲載した写真をご希望の方、広報に関するご意見ご要望は、総務課総務グループ（広報担当）までご連絡ください。
※写真は電子メール送信による提供も可能です
・電話 33-2111（内線34番）
・メール kouhou@chippubetsu.jp



子ども園くるみで「おみせやさんごっこ」が行われました。店員さん役の園児が、自分で作ったお弁当やお寿司、パフェなどをお店に並べ、「いらっしゃいませ！」とお客さん役の園児を元気に呼び込んで販売していました。



中央西町内の宮西貴志さんが耕作する畑で、子ども園くるみの園児がブロッコリーの収穫体験を行いました。晴れ渡る空の下、園児たちは友達と大きさを競いながらブロッコリーを選び、収穫の喜びを体験しました。



子育て中の保護者を対象に、生涯学習センターで子育て講話が行われました。今回は、生活リズムと子どもの成長に合った遊びの話や、子ども達とふれあい遊びを行いました。



五穀豊穡と地域の平安を祈願する秩父神社例大祭が行われました。参加者は神輿などを引きながら列になって町内を行進し、百年記念塔及び役場庁舎前でちくし神楽獅子の演舞や中学校吹奏楽部の演奏などが行われました。



消防支署裏で、深川地区消防組合秩父別支署の職員訓練が行われました。スプレッターと呼ばれる道具を使用して、事故などの際に鍵のかかった車両のドアを破壊し、要救助者を救出する訓練を行いました。



こども園くるみの親子遠足が行われました。今回は0歳から1歳のもも組の親子が参加し、こども園からベルパークまで一生懸命歩いて、屋外遊戯場でミニゲームを楽しんだ後、仲良くお弁当を食べました。

故 佐久間 進さん 特別叙勲「瑞宝単光章」を受章

前秩父別消防団長の故 佐久間 進さんが、特別叙勲の瑞宝単光章を受章され、9月5日、神薙町長から奥様の佐久間葉子さんに伝達されました。

故 佐久間 進さんは、昭和52年に秩父別消防団入団以来、41年余りの永きにわたり消防団員としてご尽力され、平成24年には消防団長に就任されました。

また、北海道消防協会の評議員を歴任されるなど、永年にわたる地域の消防並びに防災の発展向上に多大なご貢献をされたことが称えられての受章となりました。



長谷部幹夫さん 町に10万円のご寄付を いただきました

9月21日、旭川市在住の長谷部幹夫さんと奥様の恵美子さんが役場を訪れ、「10年間なつみの里を利用し、田舎の親戚をはじめ町民の方とのつながりができ、大変お世話になりました。」と、10万円を寄付されました。

長谷部さんは平成21年度から10年間、交流体験農園「なつみの里」をご利用いただき、田舎の親戚との交流会では進行役を務めるなど、町民と利用者の交流促進にご協力いただきました。

町は長谷部さんのご好意に深く感謝し、観光施設整備基金に積み立て、有効に活用させていただきます。

